

第16回 千葉県地域リハビリテーションフォーラム
令和4年度 全国福祉用具相談・研修機関協議会 全国会議

持ち上げないケアを普及する

～趣旨説明～

○田中康之

千葉県千葉リハビリテーションセンター 地域支援センター長
全国福祉用具相談・研修機関協議会 監事

福祉用具はもっとリハの場面で議論されるべき

- 広義の福祉 = 幸せ
- 用具 = 目的を特化した道具

福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律（平5年5月6日）

（目的）第一条

この法律は、心身の機能が低下し日常生活を営むのに支障のある老人及び心身障害者の自立の促進並びにこれらの者の介護を行う者の負担の軽減を図るため、福祉用具の研究開発及び普及を促進し、もってこれらの者の福祉の増進に寄与し、あわせて産業技術の向上に資することを目的とする。

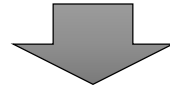
（定義）第二条

この法律において「福祉用具」とは、心身の機能が低下し日常生活を営むのに支障のある老人（以下単に「老人」という。）又は心身障害者の日常生活上の便宜を図るための用具及びこれらの者の機能訓練のための用具並びに補装具をいう。

地域リハフォーラムなのに、
何故「ケア」なのか

●千葉県地域リハ支援体制の整備推進の理念

すべての人々が、本人の「したい生活」を実現できるように、リハビリテーションの視点から保健・医療・福祉等の関係機関をつなぎ、適切な支援が切れ目なく提供されるよう関係機関等の支援体制の整備を図る。



今後の地域リハあり方検討会（現在進行中）

✓ Keyword 自己選択・自己決定・自己実現をサポートする視点

●ケアの本質（ミルトン・メイヤロフ、ゆるみ出版）より引用

「一人の人格をケアするとは、最も深い意味で、その人が成長すること、自己実現することをたすけることである。」

何故、「持ち上げない」を
テーマにしたのか

Keywordは 移乗・自己実現・制限要因

- 代表的な「移乗」の場面
 - ベッドからの脱出
 - 暮らしを広げる第一歩
- 「移乗」は手段
 - 「手段」であるならば可能な限り
 - ✓ 誰もが（再現性）
 - ✓ 本人・提供者双方が「安全に」「安心して」
- 特殊技術にしてしまい、自己実現の制限要因になっていないだろうか？

「普及する」への思い

目指すは「定着」

「したい暮らし」の実現



定着



業界・県民の空気感の醸成



経済的要因・制度化等

知ってもらうこと

- 保健・医療・福祉・教育などの専門職
- 経営者、行政、県民

公的なプラットフォーム作り

- 機関・組織を横断的につなぐ役割
- 研修や有効事例・失敗事例等の共有機会